



# Design

～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外38号です。11月21日（木）に実施した地域医療支援病院運営委員会の報告を掲載しています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

## 令和元年第3回地域医療支援病院運営委員会の報告



11月21日（木）令和元年度第3回地域医療支援病院運営委員会を開催いたしました。この委員会は、「地域医療支援病院」の承認要件の1つであり、外部の有識者を交え1年に4回以上の開催が求められており、外部委員の意見や要望を聞き入れ、病院運営に取り入れていくことが求められています。

今回は病院からの報告として、健診センター山岡主事から「健診センターの取り組みについて」、地域医療連携室長南出から「入院・入所相談の窓口一本化について」、メインテーマとして産婦人科北岡部長から「当院における産婦人科診療の取り組み」について報告させていただきました。

北岡部長の報告は、①日本における現在の周産期診療、②産後ケア事業、③女性ヘルスケアに関する内容で、中でも②産後ケア事業は、現在、京都山城南保健所及び圏域の市町村と新たに進めている事業であり、行政からも活発なご意見や現在の進行状況についての報告があり、来年1月の事業施行に向け強固な連携が確認できました。この事業は、出生数が現在でも増加している全国的にも珍しい木津川市（山城南医療圏）の妊産婦支援体制の大きな一歩であると考えております。

委員会後半では、各委員それぞれから本日の報告について又は病院全般のことについてご発言頂いた後、中井院長の総括で委員会は終了いたしました。

今後も地域医療支援病院として、地域の関係機関との連携推進をますます発展させていきたいと考えております。なお、委員会での議事につきましては、過去の分も含め全て連携室に保管しておりますので、お気軽に閲覧下さい。（地域医療推進部 中村 真史）

「山城ケア病棟」と検索してください。



山城ケア病棟

検索



## 地域医療連携室より

### ～ 地域を支える医療機関として ～



来年1月27日（日）に開催される「歴史めぐりマラソン in 木津川」に参加を申し込みました。私が申し込みをしたのは、子どもと一緒に走り、子どもと一緒にゴールする2キロのコースです。日頃の運動不足を解消することが参加を申し込んだ主な理由です。ほぼ毎日、本番を想定して2～3キロをランニングしています。小2の息子と走るときは、息子に負けないように結構必死です。周りを見渡すと、健康維持のため、日々の日課としてランニングやウォーキングをされている方が多く見られます。

\*

さて、マスコミでも報道されていましたが、9月26日に開催された厚生労働省主催の「第24回地域医療構想ワーキンググループ」では、全国の公立・公的病院424病院が「再編統合について特に議論が必要」として事前の調整なく実名で公表されました（当院の名前は挙がっていません）。診療実績が少なく非効率な医療を招いて医療財政を圧迫しているから、というのが公表の理由です。その後、10月29日、大阪市で「地域医療構想に関する自治体等との意見交換会」（厚生労働省主催）が開催されました。その意見交換会に出席したのですが、自治体との意見交換にかなりの時間が費やされ、厚生労働省としては、今回の公表は即、病床を縮小させたり（ダウンサイジング）、急性期機能から転換させるものではなく、各々の地域で開催されている地域医療構想会議で、地域の実情に応じた医療提供体制について意見交換を活発にして欲しいとの回答にとどまっていた。

当院は、“地域を支える医療機関”です。入職当時（10数年前）の私は、目先の業務で精一杯で、“地域を支える医療機関”の一職員という感覚はなかったのですが、患者さんや地域の専門職の方々との日々の関わりを通じて得た様々な学びや気付きから、現在は“地域を支える医療機関”の一職員として誇りを持ち、その役割を果たしたいと思っています。その役割とは、患者さんや地域の専門職の方々の“生の声”を聴くこと、そして、聴いた“生の声”を日々の業務で活かし、患者さんや地域の専門職の方々の皆様に還元することです。

昨年度の医療費は42兆円を超え、過去最高となりました。日々の運動や節制などで健康を維持し、医療機関を受診することなく過ごせることができれば一番良いのですが、様々なご病気や怪我で医療機関を受診することが必要な場合もあります。そのような時、安心して当院を受診して頂けるよう、“地域を支える医療機関”としての役割を果たしながら、引き続き、走り続けたいと思っています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

問い合わせをお待ちしています。

0774-73-1818（担当：中野・中嶋・松田）